

「オオカミの日 2018 下田」

森と海の生態系を守る！

伊豆の風土とオオカミ復活

今、日本の自然は大荒れ！シカの増え過ぎが元凶。イノシシもサルも。それにハクビシン、タヌキ、アライグマ……。クマやいろいろな外来種も加わって、日本の野生生物界は大混乱。植物は食い荒らされて禿山となり、風雨にさらされて山崩れさえ起きています。これを防ぐのは私たちオオカミ以外にはいないのです。8月25日は『オオカミの日』：明治時代に絶滅に追いやられた私たちオオカミの役割の大切さを思い起こし、その復活を皆さんと考えます。

まさか、私たちのことを「怖い、人食いオオカミ」だなんて思っていませんか？オオカミって本当は、もともと数が少なくて、臆病者で、滅多に人前に姿を見せない、利口で優しい動物なのです。生態系での私たちの仕事は、食物連鎖上での捕食者兼スカベンジャー（おくりびと）。言ってみれば「森番」でしょうか。1世紀前に日本からいなくなった私たちですが、どうか私たちのことを忘れないください。いつでも日本に戻ってきて、皆さんと一緒に、昔のように里山から奥山まで、各地の山野で過ごしたいと願っているのです。オオカミのいない自然は、土台や柱が腐った家みたいなもの。とても崩れやすく危険なのですよ。

イベント会場では、私たちオオカミの本当の姿を紹介します。私たちオオカミに代わって日本オオカミ協会のスタッフがお相手します。ペリーロード散策の途中、涼みがてら気軽にお立ち寄りください。

《イベント内容》

○写真・パネル展示（「シカ荒れ」オオカミのいない日本各地・伊豆天城の自然の惨状、オオカミが帰ってきた米国の国立公園「イエローストーン」、里山で里人と共存する西ヨーロッパ、オオカミのテリトリー、谷を守るオオカミ、ビーバーもカワウソも小鳥も戻ってきた！南方熊楠お気に入りの屏風絵など）

（蔵ギャラリー）

○アーティストたちの“オオカミイラスト40”展示（資料展示室）

○オオカミの声って？CDで聞いてみてください。

○オオカミ・クラフト：子供たちと遊ぼう！（和室）

○日米欧オオカミ絵本・写真集・解説書の展示紹介（和室）

○オオカミ・トークサロン：【話し】丸山直樹（日本オオカミ協会会長）1回15人まで（休憩室）

① 8月25日（土）13:30～15:00：オオカミの家族・ナワバリ・一人旅立ち・進化史など

② 8月26日（日）10:30～11:30：「赤頭巾ちゃんはウソ！田舎のオオカミ・森のオオカミ」

③ 8月26日（日）13:30～15:00：オオカミによるシカを減らし、カモシカやクマを守る

オオカミに関するいろいろな質問意見ウエルカム！

【入場無料】

【期日】2018年8月24日（金）～28日（火） 10:30～16:00

【会場】下田市旧澤村邸

〒415-0023 静岡県下田市三丁目16-10

ペリーロードつきあたり。あじさい公園下。伊豆急下田駅下車徒歩 15 分

【主催】一社）日本オオカミ協会 〒415-0531 静岡県賀茂郡南伊豆町伊浜 2687-56

【協賛】伊豆ユネスコクラブ ・水木の会

【問合せ先】日本オオカミ協会静岡県支部 三島（0557-51-1750・090-4701-1067）